



特集

# ER

救急救命室

- ER 医心伝心～医の最前線から～
- ER ナース・フェイス 私の看護、私の思い
- VOICE 医療連携の現場
- シリーズ 清恵会三宝病院  
療養型病院としての特徴とその機能について
- 学院だより  
地域医療の未来を支える若き力
- 気軽にお体メンテナンス  
早期のチェックで病気にチェック!

# ER 救急救命室 1 堺市の救急体制

地域との連携が不可欠な救急医療。中室先生の解説とともに堺市の救急医療体制の現状を紹介します。

**スピーディな連携で 手指再接着の希望をつなぐ**



搬入要請の内容は、小児の手指切断。救急ヘリで搬送中だった。看護師は、手指再建を行う当院の「大阪外傷マイクロサージャリーセンター」へ連絡。医師、手術室とも対応可能との返答を得た。搬入方法は、近隣の広場をヘリの着陸地点に設定し、現地へ救急車を派遣した。見事な連携のおかげで、手指の再接着手術は無事に成功した。

**ER コラム**

全国的に救急病院・医師が減少し、危機が叫ばれている昨今。堺市は、この5年間、二次救急医療機関23施設を維持しています。

「救急車の現場到着時間が平均約6分で、心肺停止症例の一ヶ月後の生存率と社会復帰率も全国平均の数値より高い堺市は、恵まれた地域といえます。その要因は、病院の連携体制と救急車で救急救命処置を行う救急救命士のレベルの高さにあると思います」

救急医療では、患者様を重症度に応じて3ランクに分けており、対応する施設も違います（※右下

図。前述の23施設では、輪番で救急診療や夜間診療を行うなど、連携して堺市の救急体制を支えています。また、三次救急施設はなく主に近隣地域の救命救急センターへ搬送されています。

「現在、市立堺病院が移転を機に三次救急の対応を予定しています。実現すれば、三次救急患者様の搬送時間は大幅に減少します」

救急病院と救急隊の連携も強化されており、緊密な情報共有を元に曜日や時間、症状に応じて救急隊が適切な病院を選択できる体制づくりが進められています。救急救命士の処置を医師が検証・指導する取り組みも行われています。

「病院到着前から、高度な処置を

## 救急患者様と対応する医療機関の分類

- 一次救急 軽いケガや病気など、入院の必要がなく自力で受診可能な患者様のことです。休日夜間急病診療センターが主な対応施設となります。
- 二次救急 骨折など入院と手術が必要ですが、緊急度は低い患者様です。清恵会病院をはじめ、救急告示病院などで受け入れています。
- 三次救急 重い疾患や多発外傷など、緊急に高度専門医療が必要な患者様です。対応施設は、救命救急センターや高度救命救急センターなどです。

施すための取り組みです。私も指導していますが、救急救命士のレベルは着実に上がっています」

その一方で、堺市も設備や人員に余裕があるわけではありません。大阪府では「通常診療時間内での受診」一症状が軽い場合は地域の休日夜間急病診療センターの利用を」と呼びかけています。さらに充実した救急医療体制を維持するためにも、救急車や医療機関の適正な利用が重要といえるでしょう。

# ER 救急救命室

突然の病気やケガに対応し、市民の健康を守る救急医療。今回の特集では、普段は関わることのない救急医療について、地域の体制や実際の現場を紹介。「医心伝心」「ナース・フェイス」まで、清恵会病院ER(救急救命室)の現場とスタッフを幅広く紹介する特別編集でお届けします。

## Seikeikai Emergency Room



監修

清恵会病院  
副院長 兼 外科部長 兼 救急部統括責任者  
**中室 誠**

大阪大学医学部を卒業後、大手前病院、大阪刑務所医務官、国立呉病院、八尾徳洲会病院に勤務。2000年に清恵会病院へ赴任。外科を専門に長く救急部長も兼務。日本外科学会指導医、日本外科学会専門医、日本消化器外科学会認定医、検診マンモグラフィ読影認定医、日本救急医学会ICLS認定コースディレクター。

ERでは20数名の看護師が交代制で勤務しています。当日の私は夕方から早朝にかけての勤務でした。

救急は夜間の来院数が多く、私が出勤するまでの患者様は19人でしたが、私の勤務時間中に33人を受け入れました。シフトリーダーとなる私は、医師の指示のもと、現場の状況を考えながら看護師に担当を割り振るのが主な仕事。ミスが許されないため、特にピーク時には集中して対応しています。

救急車搬送は、19件受け入れました。救急車搬送の際は、入電時に患者様の情報を確認して、担当医師へ報告し、到着までに症状に応じた準備を整え、サイレンが聞こえると入口で待機します。早朝には指切断の事故に遭った患者様を受け入れ、再接着の緊急手術となりました。私たちの仕事は患者様が手術室に入るまでですが、後で手術の成功を聞き、みんなが安心しました。



清恵会病院 看護部  
ER (救急救命室) 主任  
小谷 由紀



救急医療の現場を支えている現場のスタッフ。看護師の視点から、ER (救急救命室) のある一日を追いました。

**今回のまとめ**

**的確な「トリアージ」でスムーズに対応できました**

当院では、観察で患者様の緊急度を判断し、診療順位を決定する「トリアージ」を看護師が的確に行い、迅速な診療につなげています。この日のピーク時は、30分で6人を受け入れましたが、スムーズに対応できたと思います。

**7:06 救急車到着**

指切断の患者様の救急車搬送を入電。急ぎ、整形外科医師へ連絡し、緊急手術となった。

**1:43 医師診察中**

深夜のERは看護師2名が常駐。あわただしい中でも医師の診察を正確にサポートしている。

**21:26 指示票確認**

ピークは継続中。指示票を使って、担当看護師への指示は素早く、そして正確に行うことが必要。

**20:37 トリアージ**

来院が次々と重なる。待っている患者様の顔色や血圧等を見て、容態が悪ければ優先して診察室へ。

**19:53 採血**

地域の連携医療機関からの紹介患者様が来院。採血などを行い、医師の診療後、入院となった。

**17:18 外来窓口**

自己来院の患者様。診察後、鼻骨骨折と判明し、改めて専門外来への日中の受診を案内。

Seikeikai Emergency Room Seikeikai Emergency Room Seikeikai Emergency Room Seikeikai Emergency Room Seikeikai Emergency Room Seikeikai Emergency Room Seikeikai Emergency Room Seikeikai Emergency Room Seikeikai Emergency Room Seikeikai Emergency Room

**ER コラム**

**医師の細心の診療で、見えない症状を発見**

金曜夕方に入電。内容は、交通事故で腹部を強打した患者様だ。意識はあり、診察でも一見、軽症と思われたが、念のためCTを実施すると肝臓破裂が判明。急遽三次救急施設への搬入を手配。代用血しょう(点滴)で生命をつなぎ、無事に搬送した。医師の細心の注意が生んだ好判断だった。

清恵会病院は救急告示病院であり、日本救急医学会救急科専門医指定施設として若手医師の教育も担っています。臨床現場のERには内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科があり、二次救急を基本に、堺市急病診療センターの協力機関である小児科は二次救急、「大阪外傷マイクロサージャリーセンター」では手指切断等の三次救急に対応するなど、幅広い診療を行っています。実際に、昨年度は救急車搬入6005人、自己来院者を含めると2万2971人の救急患者様を受け入れています。

「可能な限り受け入れるのが、当院のモットーです。症状が重いほど時間との勝負になるため、主に遠方の方は救急隊との情報を密にして適切な施設を案内し、近隣地域の方の場合は多少無理をしても受け入れています」

5名の医師が救急を担当しているのも当院の特色です。

「内科は2名、小児科、外科、整形外科各1名が救急を担当しています。多くの救急病院は、1、2名な選ばれるケースもあります」

内科、外科、整形外科は基本的に24時間受け入れに対応。外科、整形外科、脳神経外科は随時、手術が可能な体制を敷いており、循環器内科(月曜、金曜のみ)と脳神経外科はオンコール体制で対応しています。日々さまざまな症状の方が来院するため、現場ではトリアージを徹底しています。

「当院では、自己来院の患者様の緊急性を判断する看護師のスキルも高いと思います。一方、患者様が救急車を呼ぶか自己来院するかを判断するのは難しいと思います。」

**ER (救急救命室) の主なスタッフ**

- 副院長 兼 外科部長 兼 救急部統括責任者 中室 誠 医師  
日本外科学会指導医、日本外科学会専門医、日本消化器外科学会認定医、検診マンモグラフィ読影認定医、日本救急医学会ICLS認定コースディレクター
- 救急部長 兼 内科部長代理 伊藤 巧 医師  
ICLSインストラクター
- 救急部長 兼 外科副部長 近藤 禎晃 医師  
日本救急医学会専門医、日本循環器学会専門医、日本外科学会専門医、日本胸部外科学会認定医、JATECインストラクター、JPTECインストラクター、ICLSインストラクター

一つの目安は、1分間の呼吸数。30回以上ある方は、救急車を要請していただきたいと思っています」

**ER 救急救命室 3**

**清恵会病院 ER (救急救命室) の特色**

堺市の救急医療の一翼を担う清恵会病院。中室先生の解説とともにERの体制と特色を紹介します。

# ER Nurse Face ナース・フェイス —私の看護、私の思い—

## MY テーマ 適切な看護のために幅広い専門知識と技術を身につける

### ER(救急救命室)の仕事で意識していること

ERは、いろいろな疾患やケガに対応するため、幅広い知識を学ぶことが大切だと思います。私自身、配属当初は専門知識を学ぶのに必死でした。そこで、JPTECとICLSのインストラクター資格を取得しましたが、学んだことを活かして、初めて患者様の外傷性気胸を発見したときは、すごうれしかったのを覚えています。今は、脳卒中に関するPSLSと集団災害対応トレーニングのMCLSの資格取得にも挑戦しています。

### ERで感じる人とのつながり

ERへ来て、以前にも増してチームワークの重要性を感じます。最初は、何をどう動いて良いのか分からずにウロウロしていました。そんな私が、次第に仕事に慣れてきて、初めて周囲のスタッフとあうんの呼吸で仕事ができたときは、涙が出るほど感動しました。仕事中は、みんなが同じことをしてはダメな場合もありますが、とにかく常に声かけをすることが大事だと思います。



清恵会病院 救急部  
菊地 祥子 さん

**Profile**  
2001年10月入職。2007年5月より救急部で勤務。「資格で学んだことを活かせる場面になると、さらに張り切っていますね」

## MY テーマ 不安を少しでも軽減するため、常に広い視野で観察する



清恵会病院 救急部  
堀 真規子 さん

**Profile**  
2008年4月入職。2012年3月より救急部で勤務。「相手の立場で考え、訴えに耳を傾ける。救急でも基本が大切だと思います」

### ERの仕事で意識していること

診断後の患者様を担当する病棟の看護とは違い、ERでは診断がつく前の患者様の訴えや症状を見逃さず医師の診断へつなげる役割があります。そのため、常に広い視野で観察をしなければなりません。また、患者様やご家族と時間をかけて関わる機会が少ないところも、病棟とは異なる点です。接する時間は限られていますが、適切な配慮や声かけができるように、いつも心がけています。

### ERで感じる人とのつながり

以前、救急外来へ来院された患者様を担当した際に、まだ痛みがあるにも関わらず、笑顔で「こんなに親切にしてください、うれしいです」と言っていたことがありました。接し方一つで患者様の不安が軽減できたことを実感して、私もうれしく思いました。また、先輩方は積極的に仕事へ取り組む私の姿勢を認めて、褒めてくれます。忙しい中でも、いつも見守ってもらえているという安心感があります。



清恵会病院 救急部長兼外科副部長 近藤 禎晃

**Profile**  
1961年生まれ。'86年に奈良県立医科大学を卒業後、同第3外科に入局。耳原病院、清恵会病院外科、奈良医大第3外科を経て'93年4月より清恵会病院外科へ入職し、現在に至る。日本救急医学会専門医、日本循環器学会専門医、日本外科学会専門医、日本胸部外科学会認定医。

### 日々の生活は仕事を中心に 家族サービスが休息の時間

救急に携わってからは、生活は以前よりも仕事中心になりました。私自身、月に6日の夜間当直を担当しますし、救急要請に対応するために、院内でも自宅でもオンコール用のPHSを携帯しています。趣味の映画も、最近は無沙汰です。その代わりに、今は6歳の娘と5歳の息子と触れ合う

「JATECインストラクター」や「JPTECインストラクター」、突然の心停止の蘇生(そせい)技術に関する「ICLSインストラクター」ほか、外傷や救急に関わる指導者資格も取得してきました。救急医療の現場では、看護師や放射線技師などコメディカルの方々との連携が不可欠です。チーム医療の最たるものですので、普段から周囲とコミュニケーションを取り、価値観や意識を共有しておくように心がけています。働く人にとって、救急は厳しい現場です。集中力が必要ですし、重傷の患者様や人の生死と向き合う場面も多いですから。しかし、最前線で生命を救い、患者様に最良の治療をガイドできる場所でもあります。その責任とやりがい、救急部のスタッフを支えていると思います。

日々、多忙ではありますが、私の心の中には、常に医大の恩師の「人のために自分の全エネルギーを注げ」という教えがあります。圧倒的な知力、体力、技術で誰よりも働くことは、自分の成長にもつながります。3年後の当院の移転を見送って、毎日の診療とともに救急体制の充実にも力を注いでいきたいと思っています。



# ER 救急救命室 医・伝・心 #10

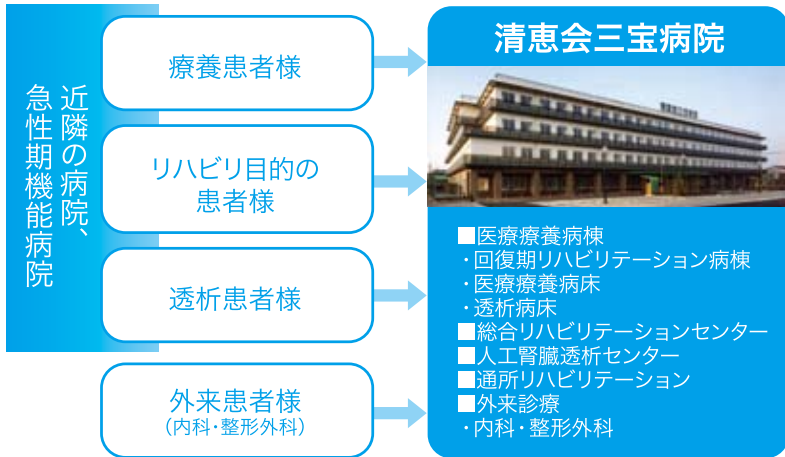
救急の最前線から

救急の最前線でも、家庭でも、目の前にいる人のために、自分の持てる全エネルギーを注ぐ

### 救急疾患全般に対応するため 幅広い専門性を磨く

私は、元々、外科で末梢(まっしょう)血管を専門にしてきました。清恵会病院へ再び赴任をしてER(救急救命室)である救急部の発足に携わることになり、以来、救急部に所属しています。そのため、救急での診療がないときは、外科で診療を行っています。救急では、迅速な対応と治療を行うための素早く的確な診断力と判断力、高度なスキルが求められます。また、患者様の症例もさまざまです。そのため、医師としての幅広い専門性を身につけようと、各学会の専門医資格をはじめ、外傷診療や救急処置に関する

時間を楽しいですね。毎日の息抜きになっています。幼稚園の行事には可能な限り参加していますし、子育てにも自分では積極的に関わっているつもりです。ですから、休日にはもっぱら家族サービスです。



# シリーズ10 清恵会三宝病院 療養型病院としての特徴とその機能について

**患者様のニーズに配慮する複合的な機能を完備**

清恵会三宝病院は、脳血管疾患の後遺症や骨折などの運動器疾患の急性期治療(手術)後に対するリハビリテーションと、人工腎臓透析患者様の透析治療・療養を2本の大きな柱として設立されました。

リハビリテーション部門については、総合リハビリテーションセンターを中心に、回復期リハビリテーション病棟・療養病棟・通所リハビリテーション施設を備え、各現場では多数の理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が活躍しています。

リハビリテーション(以下リハビリ)においては、急性期病院でのリハビリの後、早期に回復期リハビリテーションを導入することが非常に大切です。そのため当院で

は、急性期病院からの転院依頼に対して、院長・副院長・看護部長・医療福祉相談室員が速やかに入院判定を行うことで、早期入院と適切な入院病棟の決定を図っています。

回復期リハビリテーション病棟では、昨年6月から土曜や日曜・祝日にもリハビリを実施する「365日リハ」を実施しています。当体制の導入により、今年のゴールデンウィーク期間中には、外泊される患者様もおらず、在宅復帰を目指して皆様リハビリに励むという光景が見られました。また療養病棟では、患者様の全身状態に合わせて週5日間を基本とするリハビリを実施しており、こちらも充実した内容となっております。

昨年6月には、院内に通所リハビリテーション「さんさんデイケア



「三宝」を開設しました。退院後にリハビリの必要な患者様は、当施設にて介護保険下で継続した機能訓練を受けながら、送迎や食事・入浴・レクリエーションなどのサービスを受けていただくことができます。

人工腎臓透析センターでは、医師・看護師・臨床工学技士・クラークで構成されるチーム医療を実施しており、人工腎臓透析をはじめ、シャント造設術・経皮的血管拡張術(PTA)などの透析関連手術、腎臓内科専門外来などの充実を図っております。また、身体機能が低下した患者様には、リハビリテーション部との連携により、リハビリも実施しています。

当院では、入院中の患者様の容態に変化があった場合、紹介先の急性期病院との密な連携により、急性期病院での治療や転院が必要な際も迅速に対応できる体制を取っています。近年は、地域の後方支援病院としての役割がますます高まっています。今後も、グループの清恵会病院はもとより、近隣の急性期病院との連携強化を図りつつ、さらに療養型病院としての機能の充実と展開に努めていく所存です。

(清恵会三宝病院 院長 丸尾進)

## VOICE 医療連携の現場

清恵会の特色である、医療連携の現場を皆様にお伝えします。

### Vol.5 脳梗塞後の片マヒ患者様に対する自宅復帰の連携

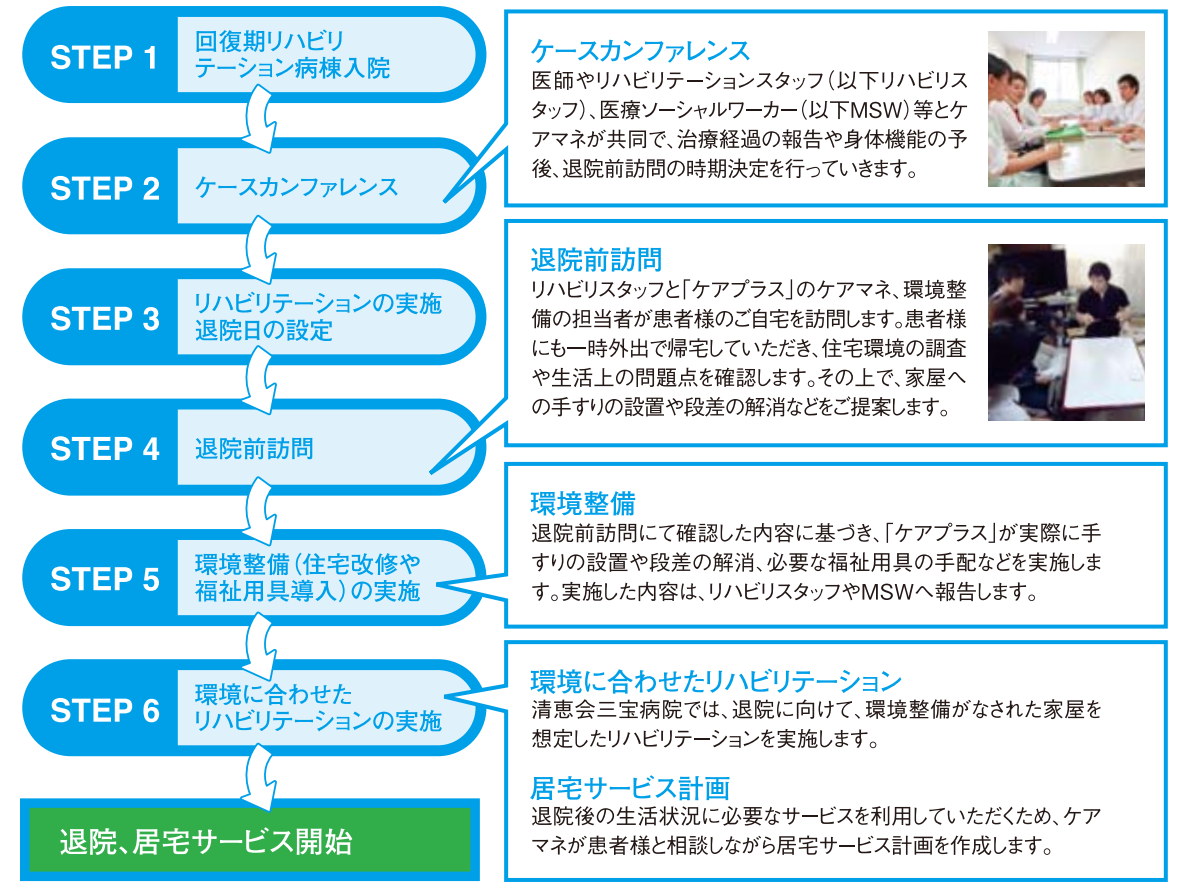
脳梗塞は、場合によって言語障害や半身不随など重篤な後遺症を残す病気です。清恵会三宝病院には、急性期病院で治療を終えられた多くの患者様が、リハビリによる機能回復や動作能力の改善を求めて転院されてきます。今回の「VOICE」では、退院に関わる当グループのケアマネージャー(以下ケアマネ)と病院スタッフとの連携についてご紹介します。

**NAVIGATOR**  
清恵会三宝病院 医療福祉相談室 医療ソーシャルワーカー 能岡 祐介

**ケアプラス(居宅介護支援・訪問介護・福祉用具貸与)との連携**

清恵会三宝病院では、ご入院された患者様が退院後、安全に生活が再開できるように、入院中から清恵会グループの「ケアプラス」のケアマネやその他の専門職と連携を取りながら退院の準備を進めます。

#### 清恵会三宝病院 入院～退院の流れ



**今回のまとめ**

脳梗塞の患者様にとって、入院中に住環境の整備をしておくことは非常に重要です。退院後の長い人生を安全で有意義に過ごしていただくため、私たちはさまざまな専門スタッフと協働しながら、アドバイスや生活環境の整備などのサービスを患者様に提供していきます。

※制作協力:ケアプラス課長 主任ケアマネージャー 豊田 武

## 第十回 マンモグラフィ検査 (乳房X線撮影)

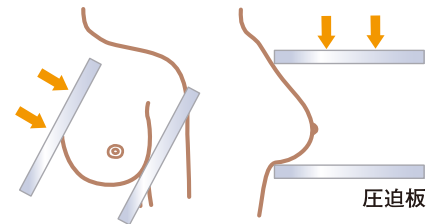
乳がんは、女性の40～50歳のがん死亡原因のトップで、日本人女性の16人に1人がかかるといわれています。そのため、女性に欠かせないのがマンモグラフィ検査です。

### 乳房X線撮影って？

専用の装置で、しこりとして触ることができない乳がんや、早期乳がんのサインである石灰化(0.5mm以下)を写し出します。早期診断、早期治療に役立ちます。

### どんなふうに撮影するの？

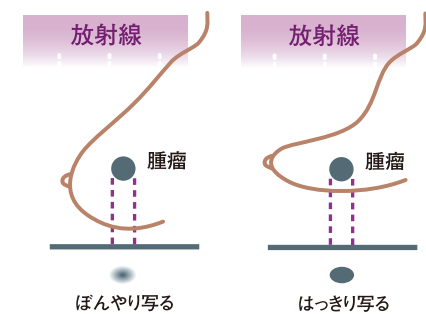
撮影の範囲は、乳房からわきの下を含めた部分です。圧迫板という板で、乳房を強めに押さえるようにして位置決めを行います。撮影は、一方の乳房に対して2方向から行う場合と1方向の場合があります。検査にかかる時間は、いずれの場合でも更衣から撮影終了まで15分～20分程度です。



### 圧迫する必要があるの？

立体的で厚い乳房を正しく撮影するために、圧迫する必要があります。圧迫により、乳腺に対する脂肪や血管などの重なりを避け、診断しやすい画像を得ることができるためです。また、圧迫することで被ばく量も少なく済みます。

月経～10日程の間は、乳房の張りが少ないため比較的痛みが少なく、撮影に適した時期といえます。



早期のチェックで病気にチャック!

気軽に  
お体メンテナンス



マンモグラフィ装置  
GE社製 Alpha RT  
(2007年9月導入)

### 撮影にあたっての注意点は？

撮影の際は、制汗剤やパウダーなどをよくふき取ってください。がんのサインである石灰化に似た形で写ることがあり、不要な再検査や被ばくを避けるためです。食事の制限や前もって服用するお薬などはありません。また、豊胸手術をされている方、ペースメーカーを装着されている方、妊娠中の方は必ず事前に申し出てください。

当院では、マンモグラフィ認定女性技師が撮影します

検査のご予約お問い合わせ 清恵会病院 電話:072-251-8199(代表) 時間:月曜～土曜 8:30～17:30

堺市市民検診のお申し込みも承ります

30～39歳の方 問診+視触診 40歳以上の偶数年齢の方 問診+視触診+マンモグラフィ検査

平日に検診を受けられない女性のために『ジャパン・マンモグラフィーサウンデー』NPO法人J.POSH(日本乳がんピンクリボン運動)が、全国の医療機関に呼びかけた「10月の第3日曜日にマンモグラフィ検査が受診できる環境づくり」の取り組みです。今年10月21日、清恵会病院も参加しています。



卒業後も私たちの心は一つ  
第10回学院同窓会を開催

地域医療の未来を支える若き力  
学院だより

清恵会医療専門学院  
清恵会第二医療専門学院



7月8日の吉日、「第10回清恵会医療専門学院同窓会」が、リーガロイヤルホテル堺で盛大に開催されました。当日は、学院長をはじめ歴代・現職の講師、病院の総看護部長や看護部長、全国の同窓生たちが出席しました。会の間は、懐かしい顔を前に近況報告や思い出話に花を咲かせ、笑い声の絶えない時間を過ごしました。



創立35年の当学院では今年度は第1看護学科が33期生、第2看護学科35期生、准看護学科31期生が卒業を迎え、

これまでに3345名の卒業生を送り出してきました。30年前に発足した卒業生交流組織の同窓会は、3年ごとの同窓会開催を中心に、戴帽式や卒業式等への参加を通じて後輩への支援も行っています。当学院には卒業生の教員も多く、創設者・佐野恵先生の理念を受け継ぎ、日々後進の育成に力を注いでいます。その成果として、看護師国家試験の合格率は、過去5年間平均で99.7%、准看護師資格試験の合格率は創立以来100%と高い実績を誇っています。

平成25年度 入学試験願書受付中!!

平成25年度入学生を募集しています。医療法人清恵会の全面バックアップ体制、安心・充実のカリキュラムのもと、社会に貢献できる医療人を目指してください。

清恵会医療専門学院 第1看護学科/第2看護学科/准看護学科  
清恵会第二医療専門学院 理学療法士科/放射線技師科

http://gakuin.seikeikai.or.jp



## 清恵会グループのご紹介

### + 清恵会病院

急性期機能病院

〒590-0024 堺市堺区向陵中町4丁2番10号  
TEL.072-251-8199(代)

### + 清恵会向陵クリニック

人工腎臓透析外来

〒590-0024 堺市堺区向陵中町6丁2番11号  
TEL.072-251-8199(代)

### + 清恵会訪問看護ステーション

訪問看護・訪問リハビリテーション

〒590-0024 堺市堺区向陵中町4丁4番4号  
TEL.072-257-6074

### + 清恵会医療専門学院

看護師・准看護師養成校

〒591-8031 堺市北区百舌鳥梅北町2丁83番地  
TEL.072-259-3901

### + 清恵会本部

〒590-0024 堺市堺区向陵中町4丁4番4号  
TEL.072-251-8199(代)

### + 清恵会三宝病院

複合型慢性期機能病院

〒590-0903 堺市堺区松屋町1丁4番1号  
TEL.072-226-8131(代)

### + 清恵会三国丘クリニック

専門外来(予約制)

〒590-0024 堺市堺区向陵中町6丁4番10号  
TEL.072-251-8199(代)

### + さんさんデイケア三宝

通所リハビリテーション

〒590-0903 堺市堺区松屋町1丁4番1号  
TEL.072-225-0066

### + 清恵会第二医療専門学院

理学療法士・診療放射線技師養成校

〒590-0026 堺市堺区向陵西町4丁5番9号  
TEL.072-222-6226

### + ケアプラス(照恵商事株式会社)

居宅介護支援・訪問介護・福祉用具貸与

〒590-0024 堺市堺区向陵中町6丁6番25号神田ビル2階  
TEL.072-259-4622

## 清恵会グループのWebサイトがさらに充実!

清恵会グループWebサイトがリニューアル。『リハビリテーションサイト』を新設し、トップページから各施設への移動、見やすさもアップしました。また、スマートフォンサイトが新登場。手軽に清恵会病院の情報をご覧いただけます。



医療法人清恵会



リハビリテーションサイト



スマートフォンサイト

清恵会

検索

<http://www.seikeikai.or.jp>

